

企業見学ツアーで職業観醸成を



企業ツアーで金融業の資料展示を見学する学生ら＝大阪市中央区伏見町3、三菱UFJ銀行大阪ビル

武庫川女子大

就業体験より気軽と好評

学生の職業観を醸成しようと、武庫川女子大（西宮市）は、卒業生がいる企業などへの見学ツアーを続けている。就業体験（インターンシップ）はハードルが高くと感じる学生も気軽に参加できるのが好評という。9月5日は大阪市中央区の三菱UFJ銀行大阪ビルを訪れた。

大学1～3年生と短大1年生を対象にし、春と夏の年2回、あわせて約20社を訪問する。2005年に始め、製造業や金融機関、観光業など幅広い業種の企業に依頼している。兵庫県内の企業では

れまで、UCC上島珈琲（神戸市中央区）や子ども服のファミリア（同）が受け入れた。

三菱UFJ銀行へのツアーは約2時間の内容。9人が参加した。大阪ビルは8月に完成したばかりで、最新のオフィスや銀行の歴史を紹介する展示室などを見学し、卒業生を含む行員との座談会で仕事の内容ややりがいを聞いた。

今後継続する方針で、同大キャリアセンターの松本全弘事務部長は「年が近い先輩との交流が刺激になる。将来の目標や自らの適性を早めに考えてもらい、就職後に感じるミスマッチをなくしたい」と話していた。（内田尚典）